

# よみうり大江戸あんしんぶん

## 第24号

発行：東京読売防犯協力会  
制作：墨東読売会  
編集：東都よみうり新聞社  
〒134-0091 江戸川区船場 3-7-11  
矢島ビル 301  
☎03-6663-9010

無料

## 今年で13回目 「すみだ耐震化フォーラム」開催

防災袋に入れるものを選ぶ釣りゲームコーナーの様子。合計重量を測りながら持ち運べる4kg程度で収まるかを確かめる



住宅の耐震補強や防災対策の最新情報を集めたイベント「すみだ耐震化フォーラム2018」が、曳舟文化センターで2月24日に開かれた。

「耐震化フォーラム」は、墨田区内の建設業4団体（一般社団法人東京都建築士事務所

協会墨田支部、墨田建設業協会、東京土建墨田支部、墨田建設産業連合会）や34の町会・自治会、墨田まちづくり公社などで構成する「墨田区耐震化推進協議会」が主催して2006年から毎年開催している。

協議会事務局の栗橋宏さん（東京土建墨田支部書記長）によると、きっかけとなったのは墨田区で木造住宅耐震化に関する助成制度が始まったことで、特に簡易耐震改修の助成についてほとんど知られていなかった現状からイベント開催で周知を図ることになった。当時は、マンション耐震偽装問題や高齢者を狙った高額のリフォーム詐欺事件が

発生して建築業界への信頼が揺らいでいた時期とも重なり、「社会的な活動でなければ自分たちの思いが伝わらない」という意識も関係者の間にあったという。

13回目となる24日のイベントでは、ステージで墨田区の補助金制度や不燃化の改修事例などが紹介されたほか、東日本大震災の被災地復興に関わる体験談や建築の専門家らが身近な話題から設計、施工について対談する「ここだけのななし」などが行われた。またブース出展では、建築無料相談や高齢者支援センターによる相談コーナー、食育団体による高齢者やアレルギーのある子供のための非常食の紹介、リュックの重さを測りながら防災袋の中身を決めるゲームなども来場者の関心を集めていた。



耐震に関わる建物の相談や高齢者による相談コーナーも設けられた

## 避難所の環境改善につなげたい 工学院大学で研究開発を進めるダンボールシェルター

今回の「耐震化フォーラム」に初出展した工学院大学建築学部鈴木研究室は、ダンボー

ルを使って被災地の避難所に部屋のような仕切られた空間を作り出し、プライバシーの確保とストレスの軽減につなげる可能性を探っている。仮設建築の研究の一環として開発したダンボールシェルターはまだ研究段階だが、2011年の東日本大震災では気仙沼市に、2016年の熊本地震でも被災地に運ばれ活用された。量産化した場合、1セット数千円代にコストは抑えられるという。

24日は更衣室やトイレなどに適

最新の研究では間仕切りで区切りながら開放感も重視した空間を作ることのできる「クロスウォールシステム」を開発している（左が浅水さん）



したサイズのダンボールシェルターや2.7畳分の開放感のある空間が複数作れる間仕切り型の「クロスウォールシステム」が展示された。同大学大学院修士2年の浅水雄紀さんによると「実物を見た来場者から「車椅子は通れるの?」「長期間保管して大丈夫なの?」といった質問や意見が寄せられ、改良点の発見にもつながっている。今後もイベントなどを通じて多くの人に見てもらいながら実用化を目指したい」という。



高さがあり、更衣室などに利用できるサイズ

## 新聞代 集金詐欺にご注意を!!



(新聞販売店員を装い)  
今日、新聞の購読契約をし、新聞代1年分を一括前金で払っていただければ、月2,000円に値引きします。

他にも、

(新聞代の集金を装い)  
今、手持ちのお金がないので、後でおつりを持ってきます。

とって、新聞代金を騙し取る。



最近  
集金詐欺が  
急増  
しています!

とって、24,000円を騙し取る。



という手口も。  
ご注意を!!